

令和元年度  
第2回志布志市総合教育会議

令和2年2月17日（月）午後1時30分～  
志布志市役所本庁2階 庁議室

< 会 次 第 >

1 開 会

2 市長あいさつ

3 報 告

(1) 志布志市教育大綱の改定について

4 協 議

5 その他

6 閉 会

令和元年度 第2回志布志市総合教育会議 出席者名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	市 長	下 平 晴 行	
2	教育委員	松 原 治 美	
3	教育委員	島 津 陽 亮	
4	教育委員	津 町 千 代 子	
5	教育委員	益 田 裕 子	
6	教育長	和 田 幸 一 郎	
7	副市長	武 石 裕 二	事務局
8	総務課長	山 田 勝 大	
9	教育総務課長	徳 田 弘 美	
10	教育総務課長補佐	坂 元 正 知	
11	学校教育課長	谷 口 源 太 郎	
12	生涯学習課長	萩 迫 和 彦	
13	総務課長補佐	黒 石 直 也	

(案)  
志布志市教育大綱



令和2年3月  
鹿児島県志布志市

第2次志布志市総合振興計画 将来都市像

未来へ躍動する創造都市 志布志  
【さらに輝く ひと・まち・みなと・ふるさとを目指して】

## 志布志市教育大綱

### I 基本目標

夢や希望を実現し未来を担う心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまちづくり

- 1 知・徳・体・食の調和がとれ、主体的に考え粘り強く行動する力を備え、生涯にわたって志を持って意欲的に自己実現を目指す人間の育成
- 2 郷土に誇りを持ち、社会・郷土の一員として、志高く社会づくり・まちづくりに貢献できる人間の育成

### II 基本方針

#### 取組の視点

- (1) 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- (2) 社会の変化に対応し、夢や希望を実現する能力の育成
- (3) 学校・家庭・地域等の積極的な連携・協力
- (4) 郷土志布志の教育的な伝統や風土の活用と未来への継承

#### 施策の方向性

- 1 お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- 2 未来を切り拓くための能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進
- 3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進
- 4 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進
- 5 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興

第2次志布志市教育振興基本計画

## 教育大綱の計画期間

教育大綱の計画期間は、第2次志布志市教育振興基本計画との整合性を図るため、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11
第2次志布志市総合振興計画（基本構想10か年）												
前期基本計画（5か年）					後期基本計画（5か年）							
前教育大綱		志布志市教育大綱										
第1次計画												
後期計画		前期基本計画（5か年）					後期基本計画（5か年）					
志布志市次世代育成振興計画（5か年）												
志布志市子ども読書活動推進計画												
第2次		第3次推進計画（5か年）					第4次推進計画（5か年）					

## 志布志市民憲章

ここ志布志市は、青い海と緑の大地に恵まれた素晴らしいふるさとです。

その昔、この地を訪れた天智天皇が、「志」篤き里人にいたく感激され、この地を「志布志」と命名されたと伝えられています。

その「志」篤き里人の子孫である私たちは、先人が誇りを持って脈々と紡いできた「志」の心を市民の基本理念として、市民憲章にあらわすことにしました。

「志」とは、自ら生きる目標を心に決めて目指すことであり、人や地域のために尽くそうとする心です。ひいては、世の中全体のために奉仕する心です。

私たちは、先人が築いた歴史や文化を引き継ぎ、「高い目標や夢」と「慈愛の精神」を持ち、市民一人ひとりがそれぞれの役割を担い、行動を起こし、「志」あふれる志布志市を築いていくことを誓います。そのために、

私たち志布志市民は

- し 自然に親しみ、ふるさとを愛し
- ふ 文化の香り高い先人の叡(えい)智(ち)に学び
- し 幸せと平和を求め

“こころざし” あふれるまちを創ります